

2013₁₁号



原水協通信

原水爆禁止日本協議会

発行人 赤松宏一

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033



原水爆禁止大阪府協議会 大阪府中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

被爆者の命の叫びを忘れないで下さい



○広島で17歳で被爆し、被爆証言をする高木静子さん



「国連軍縮週間のつどい」

平和の歌声と被爆証言で決意新たに

オープニングは
平和を願う歌声で

十月二十六日、「国連

軍縮週間のつどい」が
大阪グリーン会館で開
かれました。1978
年から国連軍縮週間を
記念して、三十五年間
開催されている歴史あ

る集会です。大阪府・大
阪市からも三十年間後
援をいただいている集
会ともなっています。

オープニングは、千秋
昌弘さんのテノール独
唱。「人間をかえせ」の
熱唱には会場から大き
な拍手が寄せられまし
た。続いて、男性合唱団

「鼻」の組曲「放射能」
は、福島の人々の想いが
熱唱され、軍縮週間のつ
どいにふさわしい歌声と
なりました。

十七歳が見た
広島の地獄絵図

高木静子さんは、広島
女子高等師範学校四年生
十七歳で被爆。八月六日
のいつもの校庭である朝
礼は、前夜の空襲警報を

考慮し、中止に。校長先生
の判断が高木さんの生死の
分かれ目となる。

八時十五分。自分のノー
トを開いた瞬間、強烈な光
が走った。写真のフラッシ
ュを何千倍も強くした強烈
な閃光！木材の中から這い
出してみると、校舎がない。
廃材の山。ポタポタと額か
ら血がしたり始め、左首
からも血が噴き出してブラ
ウスは、もう真っ赤に染ま
っていた。

気がつくくと、兵舎の板敷
の間に寝かされており、う
めき声が満ちている。声の
中から急に立ち上がって叫
び声を発し、発狂している

のか。まるで、焼いたイ
ワシのように寝かされ
ているのは動員生徒の
中学生。少年・少女たち
がウジ虫のエサになっ
ている。私は、ウジ虫を
とつてあげると、
「お姉ちゃん、ア、リ
ガ、ト」と言つて、ほっ
とするのもつかの間、ガ
クンとなつてしまう。か
すかに「お母ちゃん」と
呼んで、こと切れるの
だ。……切れるの
だ。……そして、少女時代の私
の夢は断られた。

「核兵器全面禁止のアピール」署名

(2013年11月1日現在)

38万6879

「国連軍縮週間」で対府交渉

十月二十二日、大阪原水協は、WTCで対府交渉を行いました。岩田理事長が「申し入れ書」を提出し、府側は人権局の岡正人・課長補佐が対応しました。

「申し入れ書」は四項目を要求。①被爆国として、国連での「核兵器の非人道性」での共同提案に日本政府が賛同し、核兵器廃絶の先頭に立つことを大阪府として日本政府に申し入れること

と②「核兵器全面禁止アピール」署名に松井知事の賛同と署名を求め③被爆組写真「原爆と人間」を府が購入すること④大阪府の公

共施設での原爆展を開催できるように公共施設の使用許可を出してほしい、で府側の回答を求めました。



☆WTC (ワールドトレードセンター) 36階で「原爆と人間」のパネル写真を提示しながら府側に説明する岩田理事長

原爆裁判支援の夕べ

十月二十四日、大阪弁鑑賞が行われ、有原誠治護士会館で、「原爆裁判監督は、「放射能は生涯支援の夕べ」が開かれ、持続性のものであること豪雨にもかかわらず近とを痛感しました」と畿各地から五十五名が発言されました。

参加しました。挨拶に立った藤原彦さんは「被爆者の訴えから闘った集団訴訟は裁判官なら当然共感楽天のマー君よりすごい二十九連勝でした」と笑顔の挨拶。

DVD「おりづる」の「えるだろうか」と発言されました。



GET OUT!カーチスウィルバー



十月二十六日、米イージス艦カーチス・ウィルバーが大阪港に入港。横須賀港を母港とし、イラク戦争では、最初のトマホークを発射させた侵略のシンボルのイージス艦です。トマホークの発射管がはつきりとわかるグレイの船体に「大阪港は平和な商業の港。大阪港からすぐに出ていけ」の英語でのシユプレヒコールを参加者で叫び続けました。接岸料四十五万円は、日本政府の思いやり予算と聞きみんな大激怒でした。

二つの抗議文送付!

●オバマ大統領に!

アメリカ核安全保障局は、今年七月から九月に、ニューメキシコ州で強力なX線を出す「Zマシン」装置を使って核実験を行う

たと発表。今回の実験は今年三回目であり、ノーベル平和賞をただちに、返上しなければならぬほどの愚かな行為と強く抗議し送付しました。

●安倍首相に!

秘密保護法案が十月二十五日閣議決定され、国会に上程されることに。この法案は、明文・解釈改憲による憲法改悪、集団的自衛権使用によるアメリカと共に海外で

戦争できる国づくりであることは明らかです。その前段でもある日本版NSCは戦争司令部であり、これらの「戦争法案」の廃案のために全力を尽くすことを宣言しています。